

◇ 令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「笠縫東」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	23,197,737円		22,574,295円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko.kasanuihigashi/			2年目	25,483,292円	23,876,227円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人良友会			3年目	24,673,500円	29,822,279円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日			4年目	23,700,588円	26,621,401円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日			5年目				

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市（施設所管課）の総合評価…	☆☆☆☆
令和5年度の管理・運営に係る事業目標（年度当初に記入）		事業目標および管理・運営に対する評価（事業年度終了後記入）	
小学校敷地内で近いメイトを活かし、気になる行動があれば都度小学校の先生に相談する等の連携を図り、またのびっ子前の芝生や運動場を利用した遊びでは安全確保に努める。また、夏休み等では、児童センターを利用しZoomでの外国人講師を招いての体験活動、こども園のプールを利用し水遊びを楽しむ等で充実を図る。送迎時での保護者とのコミュニケーションを大切に、家庭、小学校、のびっ子での個々の姿を理解し、保護者と共に子どもたちの成長を見守る。 ICTシステム「コドモン」の導入から一年、保護者との連絡や入退室の管理をより充実させる		概ね適正な管理運営ができている。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価（事業年度終了後記入）		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
運動不足と言われる子ども達のためにグラウンドでの運動遊び(体幹)を中心に目や姿勢に特化したビジョントレーニングを昨年に引き続き実施した。子どもたちの身体作りと健康維持に加えて、夏休みにはロクハ公園での自然体験やバスを利用して大阪ガス科学館でのSDS研修、大型児童館ビッグバン内では多くの遊び体験を実施した。こども園でのプール遊び、児童センター内でZoomを使いフィリピンの小学生と交流したり、剣道のプロを招きし武道での礼儀作法も教わった。また吉本芸人(ノーサイン)の2人をお招きし、プロの芸を身近でみての感動とともに、子どもたち自身も漫才に挑戦する体験を行った。毎年の「お楽しみ会」では、子どもたち自身が企画立案し運営する等、主体性を育む活動を意識して実施した。児童センターの夏祭りでは、各自がLaQ作品等を展示したりすることで、子どもたちが協力し合ったり、話し合うことができる活動をたくさんできた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1,2)			
評価項目 1		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	新入所児及び保護者が新たな環境に慣れ、充実した生活習慣をおくれるように、連絡ツール「コードモン」を活用したコミュニケーションや、子どもたちと車座になつてのサークルタイムを活用し物事を進める等、丁寧に活動を進める。職員全員で心肺蘇生法、エビペンの研修を実施するとともに、外部研修にも積極的に出席、支援員全体で共有し資質向上に努めた。ヒヤリハットを定期的に振り返り、のびっ子渋谷とも共有し、全員の向上へつなげた。年度末には全支援員が集まり活動を振り返り、見直しや危機管理意識の向上に努めた。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価		☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1,2)			
評価項目 2		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	誕生会や季節の行事では子どもたちが主体的に活動を進めることに努めた。夏休みにはこども園のプールを利用した水遊び、児童センターで外国人との交流、剣道体験、漫才体験等を実施。ロクハ公園での自然体験、バスを利用して社会見学等を実施する。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	引き続き、主体的に大切に活動を進めた。コロナ禍では各自が机の前に座って夕方の会を実施していたが、今年はサークルタイム形式に戻し、お互いの顔を見ながら進めることができた。毛糸を使った編み物製作も復活でき、集中して遊べる活動を多く取り入れた。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2,3)			
評価項目 3		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	毎月のおたよりをICTで保護者へ配信(コードモン)、児童センターのおたよりとも連携し保護者との連携を図る。また、小学校での子どもの姿を教務や担任から伺い、家庭、学校での姿を考慮した保育を意識し、学期末には個別懇談(希望制)も実施した。すべてに於いて保護者と子どもの成長を共有できるよう努めた。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	日々の姿はおたよりにて保護者に配信する。気になる子どもには巡回相談を依頼し、助言をいただきながら関わった。アンケートを実施して、保護者の思いを把握し、全支援員で周知し次年度に向けた反省と準備に努めた。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)			
評価項目 4		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、施設の維持管理に努めるため、セコム委託の消防設備点検も実施する。毎日の昼礼や月2回の会議で安全対策等の意見交換をして日々の改善にも努めた。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	職員による月2回の日常点検等を引き続き実施する。ヒヤリハットを取りまとめ、支援員間で周知し危険意識を高め、またのびっ子渋谷とも共有して、全員の危機管理能力向上に努めた。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆